

議事概要記録

開催日時	平成 26 年 9 月 23 日 15:00 ~ 17:00	開催場所	和歌山県立医科大学附属 病院 3 階 中検技師控室
会議種別	平成 26 年度 第 5 回理事会	議長	畑 忠良
		書記	田中 規仁
出席者 〈敬称略〉	玉置 達紀、畑 忠良、竹中 正人、大石 博晃、木下 博之、田中 規仁、 蓬台 克之、丸澤 佳子、栗林 伴有、瀧口 良重、久保 光史、神藤 洋次、 石井 啓子、脇村 小津江、田原 靖子、 村田 正吾、勝山 浩樹、13名		
欠席者 〈敬称略〉	なし	オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会長報告</li> <li>2. 第 4 回常務理事会報告</li> <li>3. 事務局報告</li> <li>4. 学術部報告</li> <li>5. 経理部報告</li> <li>6. 第 36 回和歌山県医学検査学会進捗報告</li> <li>7. 平成 28 年度日臨技近畿支部医学検査学会進捗報告</li> <li>8. 表彰審査委員会報告</li> <li>9. 各種委員会報告             <ol style="list-style-type: none"> <li>(ア) 公益事業活動</li> <li>(イ) 定款・渉外</li> <li>(ウ) 精度管理</li> <li>(エ) データ標準化</li> <li>(オ) 会誌編集</li> <li>(カ) ホームページ</li> <li>(キ) 会報</li> <li>(ク) 月例行事予定表</li> </ol> </li> <li>10. 連盟</li> <li>11. その他</li> </ol> <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総会運営について</li> <li>2. 後援名称使用について</li> </ol>		
決議事項 及び 継続事項	<p>冒頭、会長から挨拶があった。</p> <p style="text-align: center;"><b>報告事項</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会長報告             <p>第一生命保険文化賞について 8 月中ごろ、篠崎事務局長から落選したことの連絡があった。</p> <p>日臨技企画「ニューリーダー研修」への技師会推薦者として、和歌山労災病院の田中技師を推薦した。この件については、支部幹事に宮島会長が同席していたため、重</p> </li> </ol>		

要な内容にしては通達等が急すぎる旨の意見具申をしたとのことであった。宮島会長からは、企画自体は春から行われていたが、事務的に緩慢な手続きがあったことは否めないとの事であった。

第 64 回日本医学検査学会学会長より、支部長宛てに、企画「若手セミナー講演『さがそうみらい』」に入職 3 年目の若手講師推薦の依頼があったが、和歌山からは該当者なしと報告したとのことであった。

近畿支部幹事にオブザーバーとして竹中第 56 回近畿支部学会学会長と木下学術部長が参加し、再来年に行う近畿支部医学検査学会（和歌山県担当）の概要について説明がなされたとのことであった。

他団体との関連について、10 月 13 日の病院協会学術大会については技師会からの一般演題登録は 1 題であり、座長は薬剤師になるとのことであった。次年度は 3～4 題のエントリーが出来るよう、改めて技師会でも体制を整える必要があるとのことであった。

各メディカルスタッフ団体会長と病院協会会長（成川会長）との懇談会があった。成川会長は各メディカルスタッフ団体に対して非常に大きな評価と理解（和歌山県医療従事者表彰創設についても尽力を頂いている）を示し、引き続き病院協会とパートナー関係を構築しながら、さらに協力してほしいと申し出があったとのことであった。

## 2. 事務局報告

公益社団法人和歌山県看護協会より役員改選（会長交代）挨拶があった。

医事功労者に対する知事感謝状贈呈候補者の推薦について須加前理事を推薦した。

一般社団法人言語聴覚士会設立が一般社団新法人へ移行したとの挨拶があった。

「第 15 回医療セミナー in わかやま」後援名称使用依頼を発送し、全ての団体より承諾を得た。

日臨技企画「地域ニューリーダー育成講習会」派遣推薦者擁立の依頼があり、田中事務局を指名した。

「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」の予算書・企画書提出を日臨技に提出し承認を得た。

## 3. 学術部報告

学術部研究班の総合管理班新規班員に有田市民病院の大西まゆみ技師を任命したとのことであり、直ちに委嘱状発送の申し出があった。

平成 26 年度日臨技近畿支部医学検査学会が平成 26 年 9 月 20、21 日神戸市にて行われ、和歌山からは講師 2 名、司会 3 名、座長 3 名、一般演題 11 題であった。

平成 27 年度日臨技近畿支部医学検査学会の学術企画会議が 12 月上旬開催予定とのことであった。

ピンクリボン事業で学術部の機材貸出（プロジェクタや PC）が必要になり、和学会運営マニュアルを流用することで対応できるように配慮したとのことであった。

## 4. 経理部報告

平成 28 年度近畿支部医学検査学会（第 56 回）で使用するパソコンについては、今年度の和臨技事業予算で購入するとのことであった。並行して月例行事予定表でも使

用していくとのことであった。

#### 5. 第36回和歌山県医学検査学会進捗報告

学会案内については9月行事予定表と共に配布すると同時に和臨技ホームページにアップし、意見交換会や宿泊案内については10月号と同時配布予定であるとのことであった。

企業プレゼンについては募集要項を10月1日に発送予定で、その他、企業広告についての進捗報告があった。

11月号、12月号の行事予定表に詳細な広報案内を掲載する予定とのことであった。会報向け原稿やホームページ掲載の内容についての報告があった。

特別講演については、県立こころの医療センターの医師よりストレス社会におけるメンタル面の内容について講義いただけるように折衝中とのこと、タイトル等についても同じく折衝中とのことであった。

本学会において、展示を行いたい旨の申し入れが一社からあった。公平性を来たる意味でも全ての賛助会員に対して、展示ブース募集要項を発送することとなった。

#### 6. 平成28年度日臨技近畿支部医学検査学会進捗報告

平成27年度近畿支部医学検査学会（第55回）が10月17日18日に大阪国際交流センターで運天学会長の元で開催され、演題募集が5月1日から6月末にかけて行われる。また、28年度8月末から9月にかけて日臨技医学検査学会（IFBLS・日本臨床検査医学会と同時開催）が開催される。その会期の関係上、平成28年度日臨技近畿支部医学検査学会を28年度秋の開催は困難と判断し、平成28年5月14日15日にJAビルを中心に同支部学会を開催（日衛協と医学会と同時開催）するという事で進めており、先日の近畿支部幹事会で承認を得たとのことであった。ポケットプログラムや広報、演題募集期間については、今後の本学会実行委員会にて検討していくと報告があった。

#### 7. 各種委員会報告

##### (ア) 公益事業活動

○ピンクリボンについて10月11日にピンクリボ紀南2014が熊野本宮大社で行われるとのことであった。

○世界エイズデーについて、今は県と折衝中であるが、例年どおりの形態にて「エイズを知ろう（仮称）」を和臨技担当で行うとのことであり、日臨技との共催ではなくると報告があった。

また、「あなたにとってエイズは他人事？」をテーマにしたパネル展示説明（簡単な「HIVの歴史」や「HIVとは」、「世界と日本のHIVの現状」や「あなたとパートナーがHIVに感染しないために」等の流れを統計や写真を中心としたパネル）を行う予定で、企画中とのことであった。

別途、和歌山県がスタンプラリーを企画しており、和臨技もラリーに参画するとのことであった。9月30日に県と打ち合わせがあり、進捗は追って報告するとのことであった。

イベント会場は屋外のテントで行い、昨年のようなミニ講習会は行わないとのこと、VCTは例年通り行うとのことであった。

○医療セミナーinわかやま

名草保健所案内に回覧を配布したとのことであった。本セミナーは11月8日に行われ、講演会前に150名限定の肺年齢（FVCのみ）を測定、講演会途中で結果を配布する予定であると報告があった。

(イ) 定款・渉外

特になし

(ウ) 精度管理

和臨技サーベイの試料配布が今週末28日に発送29日着で行うとのことであった。本サーベイの外れ値に対する是正報告書を作成中で、出来次第、理事会にて審議を仰ぎたいとのことであった。

(エ) データ標準化

日臨技より和歌山県下の申請可能施設一覧が示されたとのことであった。

(オ) 会誌編集

7月末から募集開始を行い、論文3編、参加報告が6題の申し込みがあった。引き続き募集を行うとのことであった。

(カ) ホームページ

9月1日より36回和学会のホームページを掲載しているとのことであった。

(キ) 会報

今後の掲載予定として、事業報告については「ピンクリボン」「エイズ事業」「医療セミナー」「和学会」を投稿して頂きたいとのことであった。

また、石井理事が訪問した「検査室紹介」が新企画として掲載されるとのことであった。

さらに、新任理事の自己紹介も頂きたいとのことであった。

(ク) 月例行事予定表

広告申し込みは8社であるとのこと。賛助会員向けには経費削減を含め行事予定表配布方法（メール配信含め）などを再考することとなった。

今年度の企業広告チラシ媒体の代理配布サービスも、未だ申し出る企業は無いとのことであった。

8. 連盟

今現在、和歌山から59名の入会であるとのこと。日本臨床検査連盟は1万人を目標に動いている。

年明けの出来るだけ早いタイミングで入会を促す活動は必要があるとのこと。和臨技学会での活動が特に効果が表れるのではないかとのことであった。

9. その他

病院協会学術大会のシンポジウム打ち合わせについて、和臨技として会で行われている精度管理事業を中心に報告することを最終確認して来たとのことであった。

実行委員長の山田先生からは、各団体が行っている安全管理について、お互いに理解し合えればなお良い、とのことであった。また、各団体には組織体系や具体的な活動内容も含めて報告頂ければと申し出があったとの報告があった。

審議事項

1. 総会運営について

総会運営規程を速やかに作成し、27年度定時総会では新たな総会運営を目指す事を常務理事会にて確認した。

承認事項では、公益活動等の各事業報告を簡潔かつ緻密に担当理事が壇上にて報告を行い、総会運営委員を新たに指名し、議決事項などの書面票決や挙手票決の進捗を明確に議長に報告することなど、明確な総会運営を目指すことが提案され、理事会にて承認を得た。

2. サクラファインテック後援名称使用依頼について

後援名称使用依頼については常務理事会にて受諾（後援名称使用依頼については不備が見受けられるため、書き直しを促すこととなった）する方向で確認をしたが、理事会にて審議し承認を得た。

記録作成	平成26年10月13日	氏名	田中 規仁	提出	平成26年10月14日
------	-------------	----	-------	----	-------------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可